



あったか、思いやりのおもてなし・宿泊は南房総市内の宿泊施設です。

家族みんなでおむかえ。
アットホームなおもてなし。

アットホームな雰囲気で、あったか、思いやりのある親身になったおもてなしを心がけています。生活空間と地域を越えた人のふれあいと、やすらぎの時間を体験してください。

南房総はこんなところです。

東京圏から1時間ちょっとでいける自然の宝庫

南房総市は、安房郡富浦町、富田町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が平成18年3月20日に合併し誕生した新しい市です。

房総半島の南端に位置し、北側には県下最高峰の愛宕山（408m）をはじめ、南房総里見八丈伝の舞台となった富山（349m）など300m以上の山が連なっています。西には東京湾、東と南は太平洋と3方を海に囲まれ、南房総国定公園に指定されています。

また、首都東京から100km圏に位置し、約95分、千葉市までは約70分の時間距離にあります。

平成9年に開通した東京湾アクアライン、平成16年に開通した一般国道127号富津館山道路に続き、東関東自動車道館山線が平成19年7月4日には全線開通、東京圏からのアクセスも格段によくなっています。

沖合を流れる暖流の影響により、冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、海岸沿いのエリアは無霜地帯で、1月になると露地花が咲き始めます。豊かな自然と、古代から近代に至る遺跡や寺社などの歴史的名所も数多く残されています。

里見八丈伝、里見氏ゆかりの地

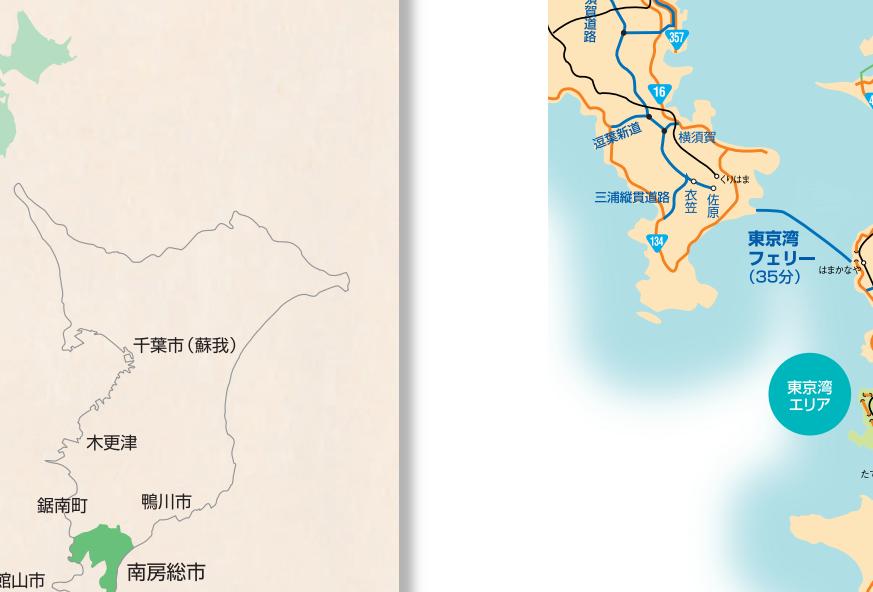
安房地域は、718年に上総國から分かれ安房國となりました。その後、一旦は国を廢され上総國へ合併されましたが、757年に再び安房國として独立をしました。

かつては多数の莊園が存在しており、これらは中世末まで統治者の交代を繰り返してきました。戦国時代に入り、15世紀中頃に里見氏が安房統一を果たし、戦国末期に館山城を築城して安房國統治の拠点としました。しかし、その後里見氏は、江戸幕府による全国支配体制の確立により、1614年に改易され、以降この地は旗本領、天領、小大名の領地として分割統治されました。

近代に入り、明治11年の郡区町編成法施行により郡制を施行、明治30年には「交通の便が相互にあり、かつ民情風俗に大差がない」という理由から、安房郡、平郡、朝夷郡、長狭郡の四郡を合併して、現在の安房郡の前身となる「安房郡」が形成されました。昭和30年前後に相次いで町村合併を経て、旧町村の姿となりましたが、平成18年3月20日に安房郡による合併が行われ、南房総市が誕生しました。

1施設の収容は20名様から100名様まで。
参加人数にあわせて、自在に対応します。

20名様程度収容の小規模な民宿も数多く、また100名様以上を収容できる宿泊施設もあります。クラス、男女別に1施設に配置するなど、学校の規模、人数にあわせて、様々な対応が可能です。



●南房総市の概要

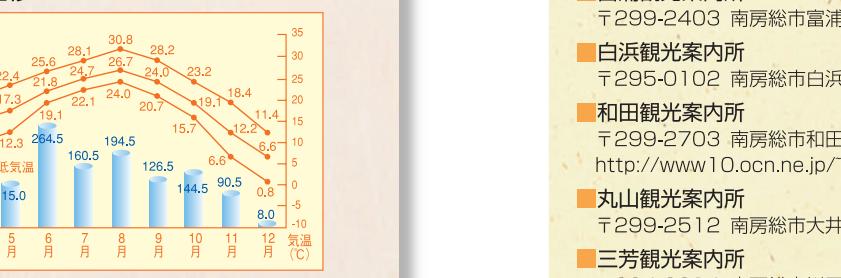
所在地：〒299-2492
千葉県南房総市富浦町青木28番地

面積：230.22平方キロメートル

総人口：45,152人
(男21,601人 女23,551人)

世帯数：16,872世帯
(住民基本台帳 平成19年4月1日現在)

●年間の気象状況推移



南房総市観光協会 <http://cm-boso.com/>

- 岩井観光案内所
〒299-2226 南房総市市部146番地2 TEL0470-57-2088
<http://www.awa.or.jp/home/tomiyama/>
- 千倉観光案内所
〒295-0004 南房総市千倉町瀬戸2079番地 TEL0470-44-3581
<http://www.chikurankokyokai.com/>
- 富浦観光案内所
〒299-2403 南房総市富浦町原岡451番地 TEL0470-33-3660
- 白浜観光案内所
〒295-0102 南房総市白浜町白浜627番地9 TEL0470-38-4412
- 和田観光案内所
〒299-2703 南房総市和田仁我浦178番地 TEL0470-47-3474
<http://www.10.ocn.ne.jp/~wa-kanko/>
- 丸山観光案内所
〒299-2512 南房総市大井681番地 TEL0470-40-9030
- 三芳観光案内所
〒294-0814 南房総市川田84番地1 TEL0470-36-4116
<http://hinanatoso.jp/>

*所要時間は洗濯を予測せずに計算しています。



千葉県南房総市

ようこそ南房総市へ。

ごあいさつ

千葉県房総半島の南端、南房総市は、太平洋と東京湾に囲まれた地形であることから黒潮の影響を受け冬は暖かく、市の南部には霜の降りない土地もあります。夏は海水浴場を利用しての避暑地として、早春は露地花畠での花摘みを目的として多くのお客様がお越しくださいます。また市内には豊かな自然、歴史・文化資源が多く、自然体験学習を行うには非常に恵まれたフィールドが広がっています。

お客様にご提供する自然体験プログラムは、明治時代に始まった夏の臨海学校の受入れで培った経験を活かし、農業や漁業を兼業として行う民宿オーナーが行っています。

農業・漁業を専業として行っている方たちもそれぞれの分野での経験を活かしお子様達への指導をお手伝いし、自然（農漁業等の第一次産業）とのふれあいを通して「食」や「環境」についての理解を深めてもらうと共に、共同生活から自立性・協調性を学び、自然と共生していくための大きな力を身につけていただけるよう、地域をあげて自然体験メニューの開発を行い、指導しています。

農業・漁業・酪農等、「自然」を相手に生き抜くことは非常に過酷です。
表紙の「手のひら」は第一次産業に何十年と携わり、「自然」を相手に現在も第一線で活躍されている方たちのものです。

長い年月「自然」と向き合ってきたからこそ指導できること、伝えられることがあります。幾多の経験から「自然」との安全な接し方も熟知しており、安全な自然体験プログラム開発、実施を行うことができます。

この手のひらが、お子様たちに自然体験学習を指導し、手から手へ経験を伝えます。
市も各種団体間の連携や人材育成などの施策を講じ、市民とともに自然環境の保全、美化に努め、お子様たちの心に残る思い出が作れるよう、いざまた南房総を訪れた時、きれいな海やきれいな山の思い出を壊すことの無いよう努めてまいります。

皆様のお越しを南房総市民一同、心からお待ち申し上げております。

■協力団体

南房総市観光プロモーション協議会／南房総市観光協会／南房総市民宿連合会／南房総市温泉組合／千倉旅館組合／白浜旅館組合／南房総市道の駅連絡会／自然の宿ぐすの木／酪農のさと／いきいき体験共和国／三芳村ちょっぴり体験組合／おさかな工房／富浦・岩井・白浜・房州ちくら・和田漁業協同組合／NPO法人千葉自然学校（順不同）



南房総市長 石井 裕

